

第8回健康福祉まつり

健康や福祉への関心を高め、年齢や障がいを越えた交流の輪を広げようと、ねんりんピック栃木2014協賛イベント「第8回健康

福祉まつり」が、11月3日(日)、保健福祉センターで開かれました。

この催しは、「健康はみずから歩く一步から、心で結ぼう福祉の輪」をスローガンに、社会福祉協議会を中心とした実行委員会が開いたもの。当日は、市内のボランティア団体等による各種模擬店の出店や福祉体験、作品展示など多彩な企画で多くの来場者を楽しませまし



大谷市長とマロニエメイツ等が苗木を配布。

自分のペースで(赤ちゃんトコトココンテスト)。

地元の商工業PRや地域活性化を図るため、那須烏山商工会では、11月4日(月)、今年で6回目となる「商工会まつり」と「スー爺サンタの軽トラ市」が山あげ会館周辺で開催し、多くの市民でにぎわいました。

会場では、ステージでのアトラクションの他、軽トラ市での農産物販売や飲食物のテントが並びました。なかでも、商工会女た「ミニSLの運行」では、親子連れで列を作り、子どもたちのはしゃぐ姿がみられました。



スー爺サンタの軽トラ市が大盛況。

商工会まつりと軽トラ市

た。なかでも、健康相談のコーナーでは気軽に相談できると多くの人が足を運びました。

例年、緑化推進のため行われている苗木配布では、ヤマモモとブルーベリーの苗木850本が、大

谷範雄市長やマロニエメイツ等から来場者に手渡されました。

なお、バザーや模擬店などの収益は、社会福祉協議会の善意銀行に寄付され、福祉団体の活動などに活用されます。

こども館では、11月10日(日)、「こども館まつり」を開き、市内の家族連れなど多くの子どもたちが来場し、会場はにぎわいました。

当日は、時々雨が降るなどすつきりしない天気でしたが、野外に設置されたクジラのエアートランポリンには、長蛇の列が続き、特設テントでのピザつくり体験は、親子一緒にになってピザつくりに挑戦する姿がみられました。そのほか、焼きそばや手作りのパン等の模擬店、バルーンアート、絵本の読み聞かせなど、親子で交流できる各種多彩な催しで来場者を楽しませました。

親子で楽しむ こども館まつり



上:おいしいピザの出来あがり。／下:親子で絵本の読み聞かせに聞き入る。



市文化祭

芸能大会や作品展

市民による芸術・文化活動の発表の場となる市文化祭(同運営委員会主催)が、11月16日(土)、17日(日)を中心に鳥山公民館、鳥山体育馆などで開催され、多くの市民が芸術・文化の秋を満喫しました。

品づくりをする参加者がみられました。

一方、鳥山公民館では、16日、民謡、舞踊、詩吟などの芸能大会が行われ、日頃の練習の成果を発揮する姿に、観覧者からは盛大な拍手が送されました。また、翌日には本格的なお茶会が行われ、そのおもてなしに会場を訪れた人々は満面の笑みを浮かべていました。

そのほか、菊花、盆栽、小菊盆栽などの園芸展や囲碁大会など、多くの催し物がそれぞれの会場で行われました。

道、山野草、さらに市内保育園、幼稚園、小中学校からの作品が展示されました。また、書道、デインプルアート、押し花、また文芸や書、美術、工芸、写真、華玉づくりの無料体験コーナーでは、指導を受けながら、熱心に作

多くの作品に見入る来場者。

芸能大会



芸能大会で目撃の練習の成果を発揮。

市教育委員会では、11月23日(土)、鳥山公民館で「平成25年度那須烏山市表彰式／生涯学習まつり・講演会」を開催しました。

市表彰式では、特別功労表彰や市政功労表彰等、それぞれの分野で活躍する人々に贈られ、クラシックのLP盤やSP盤を多数寄付された2人には、感謝状が贈呈されました。受賞者を代表し、黒羽敏夫さんは、「市の発展のためには、『恕』(思いやり)の心を持つことが大切。今後も頑張っていきたい」と、謝辞を述べました。

なお、市表彰式の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

市表彰式／生涯学習まつり・講演会 功労者25人と4団体を表彰 記念講演で「男性介護」語る



特別功労表彰

高橋トミ(統計調査員)、小堀操(那須農業共済組合理事)、樋山政義(農業簿記指導員)、高野好永(同)、滝田志孝(市議会議員)、黒羽敏夫(鳥山和紙)

市政功労表彰

藤本澄子(統計調査員)、二藤部孝(行政区長)、塩野日福壽(同)、富田義雄(同)、中山榮子(情報公開及び個人情報保護審査会委員)、佐竹信哉(保護司)、福澤英子(人権擁護委員)、吉葉茂(農業簿記指導員)、小川雄三(同)、荒井健文(同)、檜山正人(同)、金枝好光(スポーツ推進員)、小原澤英雄(同)

文化スポーツ功績賞

本多力也(わんぱく相撲)

まちづくり貢献賞

金子利幸(環境美化)、三森百合子(ガールズカウト)、新井政一郎(ボーリングカウト)、田んぼの学校志鳥俱楽部(自然環境保全、生きがいの郷からすやま)(社会福祉の増進及び交通安全の推進)、那須烏山市歩こう会(市民の健康づくり)、鳥山信用金庫(小学生の東京ドーム野球大会)

感謝状贈呈

大久保數(クラシックのLP盤やSP盤を多数寄付)、遠藤和男(同)

上:大谷市長から表彰状が手渡される(市表彰式)。下:荒川代表による講演(生涯学習まつり・講演会)。

とつておき！那須烏山

大宮駅で本市の魅力を発信

本市のPRのため市が緊急雇用で委託しているCRT栃木放送では、11月1日(金)、JR大宮駅西口イベント広場で「とつておき！那須烏山 大宮イベント」を開きました。

当日は、八溝そば街道推進協議会によるそば打ち実演や烏山語りの会による民話披露のほか、烏山和紙の紙すき体験、ディンプルアート体験など市内特徴を生かした催しが目白押し。ステージでのサイコロ大会、市のイメージラとのジャンケン大会では、特産物を配布するなどし、本市の伝統や文化に楽しく触れることができます。

なお、CRT栃木放送では、毎週木曜日午前10時15分から10時25分まで市情報たっぷりの「とつておき！那須烏山」が放送されています。

した。

会場では、元田町のお囃子保存会による演奏が響き渡るなか、山あげ祭で実際に使われた「前山」等を展示。ほかにも、観光協会や農協、漁協、観光関連事業者が市の特産品を出展するなど各種多彩な催しで、多くの通行人の興味を引きました。また、イベントの様子は、CRT栃木放送で生中継され、那須烏山市の魅力を発信しました。



上：烏山和紙の紙すき体験。

下：長蛇の列をつくるジャンケン大会。

児童が枝払いやマイはし作りを体験

市と市緑化推進委員会では、11月19日(火)、子どもや市民に緑や森林に対する理解を深めてもらおうと、烏山小学校を会場に「第8回那須烏山市育樹祭」を開き、境小、烏山小、七合小の5年生児童や教員、各種団体、一般市民など約150人が参加しました。

式典では、2013マロニエメッセージ」を披露。その後、

参加者は校庭で市林業振興会員の指導を受けながら、間伐したヒノキの枝払い体験やチエーンソーによる丸太切り見学をした後、「マイはし」作りにも挑戦しました。

七合小5年の小口遙香さんは、「自分で作ったはしを早く使いたい」とヤスリを片手に悪戦苦闘しながらも笑顔で話していました。



枝払いを教わる児童たち。

収穫を祝い 烏山小でおいもまつり



甘いサツマイモ料理が大好評。

サツマイモの収穫を喜び合い、お世話になった関係者に感謝の気持ちを伝えようと、10月21日(月)、烏山小2年生による「おいもまつり」が同校で開かれ、栽培や収穫に協力をした神長ポテトクラブ(斎藤照雄会長)や同校の1年生等が招待されました。

当日は、児童によるダンスの発表やおみこしのほか、遊びやサツマイモ料理などの多彩な模擬店が設けられ、児童が交代で店員役を務めました。特に、サツマイモ料理の模擬店では、収穫したサツマイモで児童が調理したスイートポテトや甘いも等が振舞われ大好評でした。

近代化遺産全国一斉公開2013 in なすからすやま

近代化遺産バスツアーを実施

どうくつではコンサート

まちづくり研究会(大久保忠且委員長)では、11月10日(日)、「近代化遺産全国一斉公開2013 in なすからすやま」を開きました。恒例となつた市内の近代化遺産5施設(どうくつ酒蔵、鳥山駅舎・和紙会館・境橋・鳥山防空監視哨)の公開やどうくつ酒蔵でのコンサートに加え、今

年は、新たな取組みとして「近代化遺産バスツアー」を実施しました。バスツアーには、市内外から約50人が参加しました。鳥山駅と宇都宮駅で参加者を乗せたバスは、宇都宮市水道施設群である今市淨水場管理事務所と第6号接合井を見学した後、本市に入

り、境橋とどうくつ酒蔵を見学しました。ツアーでは、まちづくり研究会副委員長の足利工業大学福島二朗准教授が、施設の特徴などを解説。境橋では、参加者が実際に橋を歩いて渡り、橋からの景観の美しさを楽しみました。

「どうくつコンサート」では、シンガーソングライター「せきぐちゆき」さんが出演。約150人の観客がその美しい歌声に耳を傾けました。上三川町から来た星野恵子さんは、「こんな素敵なか所があるなんて知らなかつた。また来たい」と話していました。



近代化遺産

幕末から明治、大正、昭和戦前期にかけて、欧米からの新しい技術や文化、制度の導入により建造された産業、交通、土木、軍事、教育、文化施設など、日本の近代化に貢献してきた構造物や建築物。

直売所ごイベントつきつき!!

地元の味に舌つづみ打つ



興野農産物直売所。



八ッ頭野菜直売所。



高瀬農産物直売所。

興野農産物直売所(船橋一夫代表)では、10月27日(日)、開業15周年を記念した「新そばまつり」を開き、早朝から大勢の買物客が訪れ、にぎわいをみせました。当日は、新鮮野菜、農産物加工品、杵つき餅などの販売の他、かぼちゃの重

さあてクイズやサツマイモ掘りなど盛りだくさんのイベントで来客を楽しませました。特に、「新そば」と大なべで作った約500食の「けんちん汁」は、会場のあちらこちらから「おいしい」と好評を博しました。

11月10日(日)には、八ッ頭野菜直売所(中山ヨツイ会長の「感謝祭」)が開かれました。直売所が開店してから欠かさず開催してきた感謝祭も、今回で22回目を迎えます。

当日は、来客に「赤飯」や「トン汁」、「漬物」をサービス。材料は全て地元で採れた野菜で、常連客はもちろん、観光客等も立ち寄り、手作りのごちそうに舌つづみを打ちました。振舞われた約30kgの赤飯とすん胴2個分のトン汁は昼前になくなるほどの盛況ぶりでした。

△ 同日、高瀬農産物直売所(八板京子会長)でも、日頃の感謝を込めた「開店22周年記念感謝祭」が開かれ、イベントら話していました。

八板代表は、「数日前から、今年の感謝祭はいつという問い合わせが後を絶たない」と忙しく来客の応対をしながら話していました。

を開始した午前8時30分から客足が切れるごとにぎわいました。

今年は、ボリュームたっぷりの「けんちんうどん」と「漬物」約350食を準備。大なべで煮るけんちんは開店以来の名物で、直売所会員が自ら収穫した大根やにんじん、サトイモ、ごぼう、ねぎに加え、豆腐、油揚げ、こんにゃくと具沢山で、これを目当てに遠方から来る人も多いようです。

△ 同日、高瀬農産物直売所(八板京子会長)でも、日頃の感謝を込めた「開店22周年記念感謝祭」が開かれ、イベント

学校給食で 地元産とちぎ和牛味わう



市内全小中学校の給食で、11月11日(月)、県内の指定農家が大切に育てている「和牛ブランド」「とちぎ和牛」を使った牛どんが献立に登場しました。子どもたちは、大好きなメニューに満面の笑みを浮かべていました。

これは、JAなす南の協力で「地元和牛食材提供事業」として実施されており、地産地消や食育の推進などを目的としています。

なお、今回、提供された和牛は、高野和弘さん(谷浅見)の牧場で育てられたものです。

龍門ふるさと民芸館 20周年迎え「紅葉まつり」

龍門ふるさと民芸館では、11月10日(日)、開館20周年を記念して「紅葉まつり」を開き、市内外から約200人が来場しました。

が催され、来場者を楽しませました。

館を管理する花田宏彦さんは、「龍門の滝をはじめ、これからもつと市の良いところを広めていきたい。そして、現状に満足せず、30周年も迎えられるよう頑張ります」と話していました。



鳥山小6年深澤夢花さん よい歯の標語コンクールで特選

鳥山小6年生の深澤夢花さんがこのほど、平成25年度よい歯の標語コンクール(栃木県歯科医師会主催)小学校の部で県内トップの特選を受賞しました。

深澤さんが作った標語は、「きれいな歯 自然に笑顔 つくりだす」というもので、ポイントは「笑顔」。母親とアイディアを出し合い、それに合った言葉を考えたそうです。受賞した感想を聞くと、「まだ農産物等の割引セールや子ども限定の輪投げ・スーパー保育園などといふ、市イメージキャラクター「こなす姫」等との記念撮影会など

医師会館で表彰式が行われ、本市では「図画・ポスター」「作文」「標語」の部から4人が出席しました。



特選を受賞した深澤さん。

すくすく保育園児 国見の山でみかん狩り

当日は、年長組の園児18人が、小森代表からもぎり方を教わり、慣れない手つきで一生懸命にみかんをもぎ取りました。日当たりの良い傾斜面の畑には、ほかにみかんの香りが漂い、温かな雰囲気と園児の楽しそうな笑い声が広がりました。

また、試食も行われ、園児は国見のみかんの特徴でもある甘酸っぱさを楽しみました。



みかん狩りに夢中。

実践型地域雇用創造事業 着々と事業を展開

国の事業採択を受け、本市の産業の振興と雇用創出のために取り組む実践型地域雇用創造事業が、着々と事業を展開し始めています。

10月初旬からは、パソコン教室やビジネススマナー、ラッピング教室、接遇マナー教室など、それぞれに専門分野の講師を招き、雇用拡大につながるセミナーを開いています。また、11月14日(木)には、本市

の特産品である「からすだいこん」や「八溝玄そば」を使用した新商品の開発に向け、初の試食会を行いました。

今後も、雇用創出のため様々な事業を展開していきます。詳細は、那須烏山市地域雇用創造協議会 0287-83-8154までお問い合わせください。

久喜市で里山・里海をPR

11月22日(金)から3日間、埼

玉県久喜市モラージュ菖蒲で開かれた「SATOYAMA & SATOURUMI with 勇気の翼(株アップフロントクリ

エイト主催」に24日(日)、栃木県で活躍するキャラクター「とちキャラーズ」を代表して「ここのす姫」等が参加しました。

この催しは、新しいアプローチで里山・里海の景観と暮らしの良さを考えるためのもの。栃木県のベースでは、本市のパンフレットを配布したり、ステージでは、「龍門の滝」や「山あげ祭」など本市の魅力を発信したりしました。キャラクターは多くの買い物客や子どもたちに囲まれ大人気でした。

市の文化財 第32回

市指定文化財

からす やま じょう おお て もん しゅ ちゅう き せき
烏山城大手門主柱基石
(中央)



烏山城の大手門は、寛永17年(1640)に時の烏山城主堀親昌により、現在の中央3丁目付近(那須南病院の東方)に建てられました。規模は間口十二間(約22m)、奥行四間(約7m)、記録によれば藩の公式行事や慶事の際にしか開閉されなかつたそうです。

基石は縦横約60cm、厚さ約25cm、自然石を加工して作られ、表面には門柱を固定するための臍穴と扉の主軸を支える鉄板がはめ込まれ、今でも柱の痕跡が残っています。

大手門は大正時代に解体され現存しませんが、基石は烏山城の歴史を伝える数少ない遺物として貴重なものとなっています。

市イメージキャラクター「ここのす姫」等

久喜市で里山・里海をPR

エイト主催」に24日(日)、栃木県

で活躍するキャラクター「とちキャラーズ」を代表して「ここのす姫」等が参加しました。

この催しは、新しいアプローチで里山・里海の景観と暮らしの良さを考えるためのもの。栃木県のベースでは、本市のパンフレットを配布したり、ステージでは、「龍門の滝」や「山あげ祭」など本市の魅力を発信したりしました。キャラクターは多くの買い物客や子どもたちに囲まれ大人気でした。



11月14日(木)、新商品開発に向け初の試食会。



10月7日(月)、ラッピング教室。

祝100歳・大槻一意さん(宮原)

宮原の大槻一意さんが、11月6日(火)、満100歳を迎え、市内で100歳を超える高齢者は19人目となりました。当日には、大槻さんがお祝いに来た大谷範雄市長や大勢のお友達の前で「今日は、私のために皆さんそろってお祝いしてくれてありがとうございます」とあいさつ。市長からは長寿を祝い、花束や祝詞などが手渡されました。

現在、ショートステイに通う大槻さんは、毎朝施設内を歩くのが日課。日中は、お友達と歌を歌ったりレクリエーションをしたりして過ごしています。大槻さんに長寿の秘訣を聞く

と、「毎日健康に努めるようになっている。基本的な食事や運動をしているだけです」とにこやかに話してくれました。



「健康が第一」と話す大槻さん。



スタートの合図で一斉に走り出す男子生徒。

まちの話題

全校生徒が市内を力走

鳥山高校で持久走大会

烏山高校では、11月9日(土)、第4回持久走大会が開かれ、保護者や地域住民が見守る中、全校生徒552人が市内を力走しました。

この大会は、持久走を通して気力の充実と体力の増強を図り、根気強く努力する態度を養うことがねらいです。同校の校庭をスタートし、市内を一周して再び校庭に戻るコースは、男子が14・8km、女子が7・7kmでした。沿道には、生徒たちを応援しようと多くの地元住民が集まり、手を振り激励しました。

なお、大会には100人近い保護者が協力をし、コースの警備や生徒たちに提供する豚汁の準備などありました。



泥んこ田んぼ体験事業収穫祭

七合公民館祭りと文化の秋・食欲の秋を満喫

きらびやかな衣装をまとった子どもたち。

11月9日(土)、きらびやかな衣装をつけた子どもたちが烏山市街地を練り歩き、付近は華やかな雰囲気につつまれました。

これは、鎌倉時代の僧「親鸞聖人」をしのび、49年ぶりに慈願寺が行った稚児行列で、烏山保育園の園児や卒業生、関係する子どもたちなど1歳から11歳までの有志59人が参加しました。

当日は、化粧や着付け等を同園の先生が担当。見慣れない衣装や飾りに子どもたちは戸惑いながらも大喜びでした。

稚児行列は、同園を出発し、慈願寺までの約30分間のコースで、着飾った子どもたちは保護者に手を引かれながら列をして歩きました。沿道では、多くの地域住民や園児の家族が子どもたちの姿を見守りました。

全校生徒が市内を力走

鳥山高校で持久走大会

烏山高校では、11月9日(土)、第4回持久走大会が開かれ、保護者や地域住民が見守る中、全校生徒552人が市内を力走しました。

この大会は、持久走を通して気力の充実と体力の増強を図り、根気強く努力する態度を養うことがねらいです。同校の校庭をスタートし、市内を一周して再び校庭に戻るコースは、男子が14・8km、女子が7・7kmでした。沿道には、生徒たちを応援しようと多くの地元住民が集まり、手を振り激励しました。

なお、大会には100人近い保護者が協力をし、コースの警備や生徒たちに提供する豚汁の準備などありました。



11月10日(日)、七合公民館(高野則雄館長)では、七合会(木村保司会長)と合同で「七合公民館祭り・泥んこ田んぼ体験事業収穫祭」を開き、地元住民約150人が参加しました。

当日は、七合会と大桶地区みどり保全会(木村義一会長)が10月に収穫した古代米の赤飯や豚汁、焼き芋が振舞われたほか、大桶ふるさと市場や興野農産物直売所による野菜等の直売が行われ、にぎわいをみせました。古代米の田植えから参加している高橋瑞季さん(烏

山小3年)は、「自分で育てた古代米は美味しい」と話していました。

また、公民館内では、烏山語りの会による民話の語りや歌う友の会による合唱、水彩画や盆栽等の作品約150点の展示など、参加者の目や耳を楽しませました。

高野館長は、「地域全体で盛り上がりがることはいいこと。誰もが気軽に作品展示をする場を設けることで、これからも生涯学習を大切にしていきたい」と話していました。

泥んこ田んぼ体験事業収穫祭

七合公民館祭りと文化の秋・食欲の秋を満喫



ひなたぼっこ(そりはたふれあいまつりより)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みんなからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課秘書広報担当
☎0287-83-1112

重い杵を持ってもちつき体験。

曲畠でふれあいまつり

曲畠自治会などによる実行委員会、渡邊廣一委員長が、11月17日(日)、今年で27回目を迎える「そりはた ふれあいまつり」を曲畠公民館で開き、地元住民約200人が参加しました。

当日は、体育部による運動会、地元消防による防災・交通安全教室、そのほか抽選会や芸能大会など多くの催しでぎわいました。また、お昼には育成会や学校PTAが手作りした「けんちん汁」が振舞われ、参加者の冷えた身体を温めました。



なお、農産物販売やバザー等の売り上げの一部は社会福祉協議会に寄付されました。

大木須新そばまつり

里山大木須を愛する会(堀江崧会長)

では、11月24日(日)、オムラサキ公園で20回目の「大木須新そばまつり」を開き、市内外から約1千人が来場しました。

「けんちんそば」のコーナーは行列ができるほどの人気ぶり。また、焼きおにぎりや焼き芋、芋串、生そば、そば粉、大木須産の野菜等も販売されました。そのほか、20回目の開催をしました。

記念し、限定100食で「もりそば」が提供されるなど、多彩な模擬店が軒を連ねました。さらに、鳥山中学校郷土芸能部のお囃子が、盛況な祭りに華を添え、来場者を楽しませました。



八ヶ代 大収穫祭

今年で11回目となる「八ヶ代大収穫祭」が、11月24日(日)、八ヶ代コミュニティーセンター(中山茂廣自治会長)で開かれ、地域の子どもからお年寄りまで約280人が参加しました。

今年も、昨年に続き長太巻寿司作りや地元産そば粉を使ったそば打ちが行われ、地域の交流が深まるイベントになったようです。

中山会長は、「来年もまた地域住民が楽しめるイベントを企画していきたい」と話していました。

南大和久 食と健康の集い

地域交流を図るため、南大和久自治会永山信夫会長の「食と健康の集い」が、11月17日(日)、南大和久公民館及び南那須運動場で開かれ、地域住民約150人が参加しました。

今回は、初の試みで老若男女が楽しめるミニゲームを企画し、自治会体育部が工夫を凝らした内容で参加者を楽しませました。また、昼食には体育部による模擬店が好評を博しました。永山会長は、「みんなが楽しめ

るイベントで地域を盛り上げられれば」と話していました。



美味しい料理に舌つづみ。

横枕で焼き芋祭り

横枕青年団(生魚貴宏団長)では、11月23日(土)、横枕伝承センターで第3回「焼き芋祭り」を開き、市内外から訪れた家族連れが秋の味覚を満喫しました。

当日は、事前申込をした家族40組がカレーブルと飯ごう炊飯に挑戦。火起こしから行う本格的な体験に悪戦苦闘しながらも200食分のカレーとご飯を作りました。

宇都宮市から家族で参加した西澤道雄さんは、「子どもと一緒にになって楽しめた。景色もすばらしく外で食べるのもまた格別」と話していました。



手づくりカレーに笑顔こぼれる。

おめでた

【中学生女子】

△優勝..丸山七海、平山春香(鳥山中)

△準優勝..仲山嘉奈、木下瑠来(荒川中)

△第3位..川上茉耶、塙田明日美(下江川中) / 高柳瑛里加(鳥山中)、渡邊馨(荒川中)

※混成

△優勝..丸山七海、平山春香(鳥山中)

スポーツの結果

●**栃木県ソフトテニス総合選手権大会**
(10月13日㈰、栃木県総合運動公園テニスコート)

【シニア男子70】

▽準優勝..久郷啓二(高瀬澤村祐毅(月

次ペア

【シニア女子60】

▽準優勝..澤村絹代(月次)杉田暁子(宇都

富市)ペア

●**第8回那須烏山市秋季市民ソフトテニス大会**
(10月27日㈰、緑地運動公園)

【中学生男子】

▽優勝..中田莉駆、渡邊康仁(荒川中)

▽準優勝..阿久津勇由、櫻井拓実(荒川中)

▽第3位..金子勇佑、榮楓和(荒川中)

▽優勝..小林悠樹、高橋知大(鳥山中)

▽準優勝..大森明(滝田)

▽準優勝..大森明(滝田)

▽優勝..高徳年子(滝田本郷)

▽準優勝..高野マサ子(大桶中)

▽第3位..横山

山美智子(大桶下)

児童・生徒のコンクール結果

●**平成25年度よい歯のコンクール**

【標語「コンクール】

特選..深澤夢花(鳥山小6年)

※16ページに掲載記事あり

【图画・ホスター・コンクール】

入選..渡邊真由(鳥山中3年)

【作文・コンクール】

入選..大鐘友里菜(鳥山小3年)、津崎日和(鳥山小4年)

ご寄付ありがとうございます

ふるさと応援寄付金

・新澤清様(東京都目黒区)から200万円

が寄付されました。

・匿名希望者様(宇都宮市)から1万円が

寄付されました。

那須烏山市奨学基金

・秋山久様(東京都小平市)から2万円が

付されました。

あなたの税が未来を拓く 市町村税徴収強化月間2013冬

◆県下一斉の取組

県内の各市町では、納税の公平と税収の確保を図るため、11~12月を「市町村税徴収強化月間2013冬」として、栃木県と協力して、県下一斉に徴収強化に取り組んでいます。

◆納期内に納付を

市税の滞納は、市の財政を圧迫し、福祉や教育などの市民サービスに支障をきたします。そして、納期内に税金を納めている大多数の皆さんとの公平性を欠くことになります。

◆差し押さえを強化

税金を納期限までに納めなかった人には、まず「督促状」が送付されます。この督促状が発送された日から10日を経過した日までに完納しなかったときには、市は滞納者の財産(預貯金、生命保険、不動産、給料、自動車、動産(電化製品や美術品、貴金属等))を差し押さえることが法律で定められています。自動車のタイヤロック(写真)を行う場合もあります。

◆事情がある場合は相談を

病気や失業、事業の廃止、災害にあったなど、やむを得ない理由で税金を納期限内に納めることができない人がいることがあります。市税務課収納対策室まで連絡してください。

■税務課収納対策室

☎0287-88-7113





戦没者遺族相談員の小森さん。

平成25年10月1日付けで厚生労働大臣から委託された戦没者遺族相談員のご紹介をします。

○小森和昌さん(下境)

☎0287-84-2723

戦没者遺族相談員のご紹介



編集後記

○先月は、布団から出られませんでしたが、今度は「こたつ」からなかなか出られなくなってしまいました。真冬の取材は寒いだろうな…と、とても心配です。

○取材といえば、今まで何度も幼稚園や保育園に取材でお邪魔する機会がありました。毎回と言っていいほど園児たちが「せんせ～い！」と無邪気な笑顔で寄って来てくれます。(そのあと「あ、間違えた」と言い去っていきますが…)似ている先生でもいるのでしょうか？悪い気はしないので良いんですけどね。むしろ嬉しいくらいです。

○そんな私が園児だった時、広報担当はMさん。先生とは思いませんでしたが、「写真屋さん」だと思っていました！同級生に話してもみんな「そう思っていた…！」と納得。当時、一眼レフを持っているのは珍しかったからでしょうか？

○今では、同じ担当の上司。なんだか不思議です…。

●おわびと訂正

11月号5ページの記事で、体育功労賞「菊地榮(大木須)」とあるのは、「菊地榮(小木須)」の誤りです。また、12ページの鳥山八景句碑の記事で、「木村松窓会長」とあるのは、「木島松窓会長」の誤りです。おわびし訂正します。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

- 『桐谷さんの株主優待生活』桐谷 広人
 『イン・ザ・ヘブン』 新井 素子
 『燃える家』 田中 慎弥
 『独走』 堂場 瞬一
 『冬虫夏草』 梨木 香歩
 『公園通りのクロエ』 野中 栄
 『潮鳴り』 葉室 麟
 『探偵部への挑戦状』 東川 篤哉

●児童図書●

- 『正しい保健体育 2』みうら じゅん
 『感染症とたたかった科学者たち』 岡田 晴恵
 『クリスマスクッキングふしぎな クッキーガール』 梨屋 アリエ
 『こぐまのクークの12か月』 かさい まり
 『ヤッホーホイホー』 スズキ コージ

『もりのおきゃくさま』

プリントン タークル

『モラッチャホンがきた!』

ヘレン ドカティ

『おかあさんの顔』 ロディ ドイル

『こひつじまる』 山内 ふじ江

●CD●

- 『あまちゃん 連続テレビ小説 オリジナル・サウンドトラック』
 『朝ドラ50years 2002-2011 Music Direct編』
 『小沢昭一 歌のステージ～唄って語って僕のハーモニカ昭和史～』
 『POPMAN'S WORLD ~ALL Time Best2003-2013~』 スキマスイッチ
 『高橋40年』 高橋 真梨子
 『BUMP OF CHICKEN 2 [2005-2010]』 BUMP OF CHICKEN

川柳

篠崎 醇月 選

- 朝顔のからみ合ひつつ空目指す
木道の尾根なり伸び天高く
秋深し歳時記を繰る音のして
北を指す雲脚速し冬兆す
矢口 玄鳥(大金)
塩谷ヨツイ(田野倉)
俳句
齊藤 穂選
洋服を気軽に更えて若返り
塩谷ヨツイ(田野倉)
突風は手加減もなく通り過ぎ
小川 昌子(向田)
正装をといて何時もの顔となり
石川 義郎(興野)
歳月の早さしみじみ思う齡
羽石 妙子(向田)

作品募集

毎月10日までに、総合政策課秘書広報担当
(〒321-10692那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

澤村 孝夫(横枕)

老いまさり来て

娘を持てば桐の箪笥をと夫と植えし
桐の花咲くうすむらさきに
須藤 ヤス(志鳥)

川手 トヨ(金井)

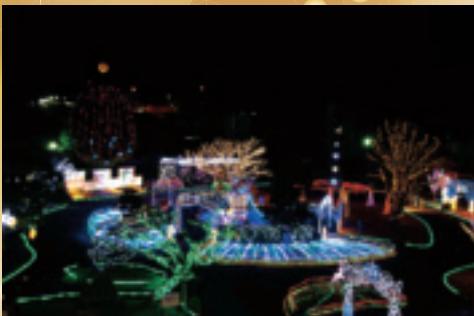
疎開児より寡母の我への便り続く六
十八年経たりし今も
吉澤 紅月(南)

薄雲を切りさく如き轟音を立てつつ
救急へりが飛びゆく
福澤 悅子選

文芸



上から、12月1日の点灯式。/
馬車に乗る子どもたち。/
まちを彩るイルミネーション。



JR烏山線の新車両の愛称が決定
“アキュム(ACCUM)”

11月27日(水)、JR東日本大宮支社は、2014年春から烏山線に導入予定の蓄電池式電車の愛称を「アキュム(ACCUM)」に決定。これは、今年8月に募集をかけたところ全国から1632件の応募があり、「アキュムレーター」(蓄電池)の言葉を引用して愛称が決められました。

2013イルミネーションin那須烏山

まちを彩る24万個の光

「2013イルミネーションin那須烏山」が12月1日(日)から25日(水)まで、市役所南那須庁舎隣公園を会場に開催されています。

この催しは、観光協会や市民ボランティアによる実行委員会(佐藤邦行委員長)が主催するもの

で、今年で13回目。24万個のLEDライトを使った星座のドームや光のアーチ等が冬のまちを彩ります。

初日の12月1日には、同会場

で点灯式が行われ、佐藤委員長のカウントダウンのもと、市長や来賓など5名の代表者がスイッチを押すと、24万個のイルミネーションが一斉に輝き、幻想の世界が現れました。この日を楽しみに来ていた大勢の観衆

からは歓声があがりました。

23日(月祝)には、クリスマスイベ

ントも企画され、先着300人の子どもたちに市のイメージキャラ

「ここなす姫」たちからプレゼン

トが贈られます。

【開催】12月25日(水)まで

【時間】午後4時50分～9時

※荒天時は安全のため点灯を控える場合あり

【イベント】12月23日(月祝)午後6時

（雨天決行）

■問い合わせ
那須烏山市観光協会 0287-84-1977

有料広告

チラシ・封筒・伝票・看板・ホームページ

フルカラー共同広告
毎月25日発行
1枚 5,250円～

アドワークス 烏山

検索

クーナイ
で見る



株式会社 アド・ワークス

那須烏山市野上1162 (寺澤太鼓店前)

Call 0287-83-8633